

一般質問(1)

一般質問の要旨

第3回定例会で25人の議員が行った一般質問の主な内容です。各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
※詳細は11月中旬に発行予定の会議録をご覧ください
※市内各図書館・両庁舎情報公開コーナー、議会事務局にあります。
※ホームページでは11月下旬からご覧になれます。

凡例
自由民主党西東京市議団 (自民)
西東京市議会公明党 (公明)
日本共産党西東京市議団 (共産)
みんなの党西東京 (みんな)
西東京改革フォーラム (改革)
生活者ネットワーク (ネット)
無所属 (無所属)

2庁舎体制の解消に向けて市長の覚悟を問う!!

石田 しこう (みんな)

質問 市長は来年3月までに現在の2庁舎体制の解消に向けて、統合庁舎の位置や統合整備の工程表を決定する方針を打ち出している。本庁舎統合のモデル案が今年の2月に市民に公表されているにもかかわらず、市民説明会などがいまだに実施されていない。このままでは来年3月までに統合庁舎の位置などを決定すること

とが難しくならないか。
回答 当市の行政面積から1庁舎体制が妥当という認識のもと、2庁舎体制の問題については市政の重要課題として解決に向けて取り組んでいる。保谷庁舎の老朽化、2庁舎体制の継続に伴うコスト負担の問題などを踏まえると早急な検討が必要である。一方でこの問題は議会・市民との合意形

障がい者虐待問題を解決せよ! 障がい者サポーターを養成せよ!

森田 いさお (みんな)

質問 知的障害者人施設「たんぼぼ」における虐待問題について問う。①不適切な支援をした職員が今も在職中であること。②第三者委員会の報告書の信憑性についてどう認識しているのか。

回答 普及啓発は、大変重要な認識している。ご提案のヘルプカードの普及啓発に関する部分も含めてさまざまな方法を検討したい。

質問 障がい者など援助が必要な人が緊急時に提示したと認識している。

回答 障がい者など援助が必要な人が緊急時に提示したと認識している。ヘルプカードを普及啓発するために、研修講座とサ

質問 障がい者など援助が必要な人が緊急時に提示したと認識している。

回答 障がい者など援助が必要な人が緊急時に提示したと認識している。ヘルプカードを普及啓発するために、研修講座とサ

次期教育計画の基本方針に「学校動物飼育」を位置づけよ

石田 ひろこ (ネット)

質問 子ども時代を豊かに生きるためには、動物植物に親しむ経験も大切である。6月の予算特別委員会の質疑では、「動物愛護についての次期教育計画の中に入れていきたい」と答弁されているが、具体的にどの

ように盛り込んでいくのか。
教育長 学校の動物飼育を充実させる取り組みは、豊かな心の育成を図ることを目的としており、来年度から始まる次期教育計画においても、基本方針の一つである生きる力の育成に向け

ての中で、豊かな心の育成を図る施策の中に位置づけていく。
質問 多胎児の家族支援の現状と課題について。
市長 2010年は双生児が11組、2011年は15組、2012年は14組出生した。訪問や健診等の際に、保健師・助産師・保育士等により、多胎児を抱えるお母さんの気持ちに寄り添いなが



泉小学校

泉小の廃止による影響は甚大! 子どもの最善の利益の保障を!!

大友 かく子 (ネット)

質問 泉小の廃止に当たって、子どもへの説明責任と参加の保障は。跡地の活用は多くの市民の関心事。方向性を最終報告で示せないか。谷戸二小の学区域が広がり、児童クラブの増設が必要と考える。検討状況は。
回答 児童の参加は、統合協議会での泉小の歴史の保存などについて意見を聞くことが適当と考える。跡地

は今後庁内で検討する予定。児童クラブは指摘のとおり課題があると認識。今後、関係部署と検討を進めたい。
質問 市内での子宮頸がんワクチン接種による重篤な副反応の状況は。
回答 副反応の報告はない。中学校に向いての普及啓発活動も差し控えている。
質問 特別支援学級の新設に丁寧に取り組み。準備状

況は。
回答 保護者説明会の開催と教員に対する研修を実施。児童生徒が充実した学校生活を送れる環境整備を図る。
質問 道路行政にも市民参加が必要と考える。見解は。
回答 市民への周知が十分行えるよう東京都及び関係機関の会議で要望したい。
その他質問等
◇若年齢の妊娠・出産について
◇ひいらぎについて
◇市民参加条例の運用について

いじめ、虐待、放射能問題は山積みだ

小峰 和美 (みんな)

質問 「いじめ」や「体罰」等の問題発生に対し、教育委員会は何をしているのか。大津のいじめ自殺、桜宮高校の体罰等は第三者委員会に対応している。もっと身近な教育委員会になれ。
回答 関係機関と適切な連携を図るよう周知する。

質問 放置自転車対策は。
回答 ひばりヶ丘駅及び田無駅周辺は定期利用希望者が多く、待機者がいる状況を引き続き利用状況を踏まえ整備等検討する。

質問 東京電力福島第一原発から放射性汚染水の漏出が明らかになった。食材への影響が心配される。
回答 給食食材は厚生労働

省が定めた基準値を超えていない。引き続き保護者に安心していただけるように検査を継続する。
質問 めぐみちゃんメニュー事業の広報戦略は。事業を一過性のものとせず、庁内を「横串」にした展開が必要だ。
回答 農業振興を図り地域経済の活性化を促進するもの。魅力ある事業として仕組みづくりも検討する。

質問 給食食材は厚生労働省が定めた基準値を超えていない。引き続き保護者に安心していただけるように検査を継続する。

質問 給食食材は厚生労働省が定めた基準値を超えていない。引き続き保護者に安心していただけるように検査を継続する。



新町福祉会館

健康マイレージ制度、障害者サポーター制度導入を提案!

大林 光昭 (公明)

南部地域のまちづくり
質問 田無駅南部地域では宅地開発が進み、人口・子どもが増加している。児童館、福祉会館の配置や道路交通網整備等、まちづ

くりを一体的に検討すべき。
回答 本年度、田無児童館、新町児童館、田無柳沢児童センターの再編整備に向けた方針を決定する、新町福祉会館の耐震改修が建て替えかの方針決定を行う。道路ネットワークの整備では、南部地域の将来都市構造として東西都市軸に都市計画道路西3・3・3、南北都市軸に西3・4・26を位置づけた。地元への丁寧な説明に努める。
健康増進への取り組み
福祉を充実させると

ら相談に応じている。
質問 保育園入所時の入所基準に多胎児を優先する考えはないか。
子育て支援部長 今後検討していく。
その他質問等
◇若者への支援について
◇高齢者いきいきミニデイについて
◇高齢者生活状況調査について

ともに、健康増進への努力が報われる社会を目指すべき。市長の公約である健康応援団創設とあわせ、健康の維持・増進への努力に応じてポイントを付与する健康マイレージ制度を導入せよ。
回答 貴重な意見として参考にする。
障害への理解
質問 近年、障害者関連法の整備が進んでいる。障害への正しい理解を広げるため、研修等を通して市民協力者を育てる障害者サポーター制度を導入せよ。
回答 障害者への理解、普及啓発は大変重要。今後勉強する。